

保護者の皆様へ



花園ナンバーワン!



R3. 11. 26  
花園保育園



# 大晦日「年越しうどん」作りのお知らせ

いよいよ師走、早いもので今年も残すところあと1ヶ月となりました。当園では毎年、一年最後の「大晦日」12月27日(月)に、そばアレルギーの子供に配慮して、みんなで年越しそばならぬ手打ち「年越しうどん」を作って食べ、保育園生活での1年を締めくくります。

えっニャンだって!?



- 1. 日程 12月27日(月) 10:00~12:00
- 2. 対象 3・4・5歳児
- 3. 開始 10:00 ぱんだ組  
10:30 きりん組  
10:45 らいおん組  
11:30 食事

食べちゃうぞ、ガオー!



- 4. 内容 ①ぱんだ組は生地作りだけ参加。  
②つけうどんにして給食で食べます。  
③自分の好きな薬味(ネギ、すりごま、きざみ海苔)をトッピングします。
- 5. 持ち物 エプロン、三角巾、マスク
- 6. お願い 爪は短く切っておこうね。



毎月の末日を「晦日(みそか)」と言い、年の最後となる12月の末日は一年の最終日ということで「大晦日(おおみそか)」と言います。大晦日の晩に食べる年越しそばは、江戸時代中期に始まった習慣だそうです。なぜ大晦日に年越しそばを食べるようになったかと言うと、「そばのように細く長く生きられますように」とか「切れやすいそばの様に、今年大変だったことや嫌なことをきっぱり断ち切って、新しい年は良い年にしよう」という願いが込められているからだそうです。

また痩せた土地でも力強く育つそばにあやかりたいからとも言われています。関東では「晦日そば」関西では「晦そば」と言います。昔の人たちが大晦日、そばに込めた思いを、子供たちに話してみたいと思います。かけそばにしたり、ざるそばにしたり、年越しそばを食べながら、一年間の思い出や新たな年への抱負など子供と話し合うのも良いですね。新年が子供たちにとって良い年でありますように。大掃除などお家で子供にお手伝いして貰う良い機会です。楽しくお手伝いが出来ると食欲にも繋がりますよ。

年越しそばは、年を越してから食べると縁起が悪いと言われています。1年間無事に過ごせたことを感謝しながら食べたいものです。



(こ)